

CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
(仮称)地域共生型福祉施設

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010  
■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境					0.40			3.1
1 音環境				2.6	0.15	2.6	1.00	2.6
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策				-	-	-	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.3	0.35	2.0	1.00	2.3
2.1 室温制御				3.7	0.50	3.0	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 負荷変動・追従制御性				-	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.25	3.0	0.43	
4 ゾーン別制御性		マルチユニット型ヒートポンプ、パッケージエアコン		5.0	0.38	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				1.0	0.30	1.0	0.30	
3 光・視環境				3.0	0.25	4.4	1.00	3.3
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		各居室に掃きだし窓を設置		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	5.0	0.30	
1 照明器具のグレア				-	-	-	-	
2 昼光制御				2.0	1.00	5.0	1.00	
3 映り込み対策				-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境				4.5	0.25	4.6	1.00	4.5
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		全面的にF☆☆☆☆を使用する		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 アスベスト対策				-	-	-	-	
3 タニコカビ等				-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	
4.2 換気				3.5	0.30	4.0	0.38	
1 換気量		必要換気量の1.2倍を確保		4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能				3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33	
4 給気計画				-	-	-	-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御		外部に喫煙スペースを設ける		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.3
1 機能性				3.7	0.40	4.6	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				3.0	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30	4.0	0.40	
1 広さ感・景観				3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	
3 内装計画		「住宅」をコンセプトに、内装材に木材を多用、電球色照明、2重床		5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		各部門に廃棄物用スペースを設け、外部ゴミ置場までの動線を確保		4.0	0.50	-	-	
3 衛生管理業務				-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1 耐震性				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.23	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水B、給湯C、汚雑排水B、通気B、消火Cを使用		5.0	0.15	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.8	0.19	-	-	-
	2	給排水・衛生設備		1.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	非常用発電設置	3.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法		4.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性				2.8	0.29	2.3	1.00	2.7
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.4	0.31	1.6	0.50	-
	2	空間の形状・自由さ		2.0	0.60	2.0	0.60	-
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.40	1.0	0.40	-
3.3 設備の更新性				3.0	0.31	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.38	-	-	-
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	-
	3	電気配線の更新性		3.0	0.17	-	-	-
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	-
	5	設備機器の更新性		3.0	0.11	-	-	-
	6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域に開放された広場とデッキテラスを設ける			4.0	0.50	-	-	-
	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.4
1 建物の熱負荷抑制				2.2	0.30	-	-	2.2
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50	-	-	-
				3.0	0.50	-	-	-
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50	-	-	-
				3.0	0.50	-	-	-
3 設備システムの高効率化			高効率照明器具、高効率空調機器の使用	5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			ERR=36%	5.0				
集合住宅の評価				3.0				
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-	3.5
4.1 モニタリング	各部門毎にメーターを設置して用途別のエネルギー利用を把握			4.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護				3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
				3.0	0.60	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.67	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.33	-	-	-
				3.0	0.33	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.63	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07	-	-	-
				3.0	0.24	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-			4.0	0.20	-	-	-
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	タイル ホモジニアス系タイル			3.0	0.05	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				4.0	0.24	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法により比較的容易に分別			4.0	0.24	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
				3.0	0.50	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.3	0.33	-	-	3.3
2.1 大気汚染防止	全電化により燃焼器具を用いない			5.0	0.25	-	-	-
				2.0	0.50	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				4.5	0.25	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				-	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				-	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制				-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制	地域用の自転車置場を確保。搬出入経路と送迎車両経路を別と			5.0	0.50	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制	屋外に分別回収可能なゴミ置場を設置			4.0	0.50	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				-	-	-	-	-
1 騒音				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.67	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
				3.0	-	-	-	-
2 砂塵の抑制				3.0	0.30	-	-	-
				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.33	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
				3.0	0.30	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.70	-	-	-
				3.0	0.30	-	-	-